

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE)
事後評価結果通知

| | |
|-----------------|---|
| 課題番号 | STSC300003 |
| 研究開発課題名: | 遺伝子変異を伴う難治性疾患治療薬および診断薬創出プラットフォーム構築を目的としたユニバーサル核酸の開発 |
| 研究代表者(所属・役職・氏名) | 国立大学法人神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 客員准教授 片岡 正典 |

1. ビジネスモデル仮説検証の目的

ユニバーサル核酸の予想代謝産物の生物活性・毒性の試験による医薬用途の方向性を定める。ユニバーサル核酸を製造するためのビルディングブロックを開発することにより、顧客の望むオリゴヌクレオチドを合成できることを実証する。余力があれば、ユニバーサル核酸が顧客の望む薬効が得られることを検証し、診断薬・治療薬・ツールの事業化が可能か検証する。

2. ビジネスモデル仮説検証の概要

ユニバーサル核酸の予想代謝産物の生物活性試験を実施し、毒性が極めて低いことが確認された(100%)。ユニバーサル核酸を製造するためのビルディングブロックを開発することに成功した(100%)、顧客の望むオリゴヌクレオチドを合成できることを実証できた(50%)。ユニバーサル核酸が顧客の望む薬効が得られることを検証するまでは至らなかった(0%)。

3. 総合所見

顧客理解や市場理解を通して課題を明確化し、事業化におけるAI技術の有効性を発見した点、事業化に必要なネットワーク構築やチームアップの準備を着実に進めた点、及び事業化を見据えた共同研究を開始している点を評価する。引き続き、事業化に向けた活動の継続を期待する。

以上